

# 社会資本整備審議会 道路分科会

## 令和2年度 第5回中部地方小委員会

1. 日時 令和3年3月10日（水）10:00～11:00

2. 場所 名古屋合同庁舎第2号館 3階共用大会議室

3. 出席者委員

板谷	あけみ	三重大学生物資源学研究科 准教授
加藤	よしと	岐阜大学工学部 客員教授
◎倉内	ふみたか	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
栗原	だいすけ	（一社）中部経済連合会 常務理事
佐藤	くみ	名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授
鈴木	こうじ	名古屋工業大学社会工学教育類環境都市分野 准教授
○高木	あきよし	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
水尾	えり	名城大学人間学部人間学研究科 教授
山田	えり	名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

※敬称略、五十音順 ◎は委員長 ○は副委員長

4. 議事

令和3年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・一般国道247号 西知多道路（長浦～日長）

<委員からの主な意見>

【一般国道247号 西知多道路（長浦～日長）】

- ・沿線地域は、鉄鋼企業やエネルギー供給企業が立地する我が国を支える重要な地域であり、国土強靱化の観点、沿線企業のBCP遂行の物資搬送路の観点からも、重要な道路である。
- ・空港に向かう際、知多半島道路で事故等があった場合でも、時間通りの到着が可能となる代替路の整備は、非常に重要である。
- ・知多地域の住民に対しても、津波浸水想定区域の回避による防災効果の向上や、産業交通と生活交通の輻輳解消による整備効果が大きい。
- ・県と十分な施工調整を実施し、工期や費用の効率化を図っていただきたい。
- ・実際の工事施工に際して、植生等の自然にも配慮いただきたい。

<結論>

- ・一般国道247号 西知多道路（長浦～日長）  
の新規事業化については妥当である。

